

英語を楽しく



☆えっ！しらなかった！！

文章を書くとき、「例えば」という言葉を使うことがあります。それを英語で「ex」と書いていたのは、私、本人だけでしょうか。もしそうなら、大変不勉強。

「ex」は「example」＝「例」という意味の略語。ですから、「例えば」という意味はありません。

「例えば」というのは、「*exempli gratia*(ラテン語)。その省略語が

「e.g.」

と書かれています。そして、これを 通例 「for example」と読むのです。

ところが、私には、なぜ「e.g.」を「for example」と呼ぶのかわかりません。

なお、日本人が「例えば」を英語で「ex」と書くのだと思い、書いているのを見て、アメリカの人が、

「ex」？それが『例えば』の意味だって？ そんなの見たことがないよ。だれもが、「e.g.」と書くのですが。」

と言ったとか。

「e.g.」だけのことでなく、異文化を正しく受け入れることは本当に難しいものと思います。

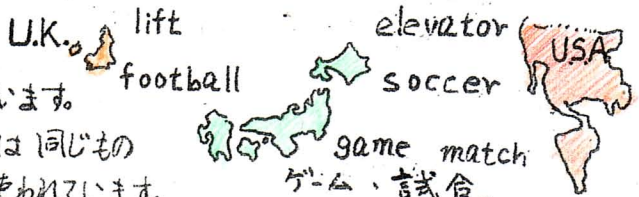
sail boat, yacht(ヨット, 帆船) ② shoes, slipper(靴両方、室内履き片方)

water 日本語 (水)

英語 (水、湧き水、海、川、湖、水域、海域、領海、近海、水面、水位、水深、品質、品位、純度、浸水、水垢など)

英語が日本に入ってくる時、それを受け入れていた人たちも様々な工夫をして、日本人が学びやすいようにするため苦勞したのではないのでしょうか。そう思うと、英単語一つの意味の(少々の)違いなど気になることでなく、それら違いを今日調べることで学習の楽しさを感じるほどです。

日本では、英語・米語が使われています。
 lift(英語)・elevator(米語)は同じものですが、日本では、別々の意味で使われています。
 日本では、外国語を輸入した時、日本風に使用することもあるのですね。



午後3時を p.m 3とは書きません。3 p.mです。多くのお店は前者です。病院の開院時間や商店の開店時間の表示を気を付けてごらんになるとよく見わかります。